

# CIVIC PRIDE -シビックプライド-

# 自分の住む、働く、学ぶ街を守る

3月1日～7日は春季火災予防運動が実施されています。また先日東日本大震災の余震とされる地震が発生し、今後もいつどんな災害が起こるかわかりません。自助・共助・公助が重要といわれ、「自分たちの街は自分たちで守る」という意識も重要です。災害から地域を守るため、消防団として活動してみませんか。☎333-2179 警防課

(撮影時のみマスクを外しています)



## それぞれの消防団員の1日

消防団にはさまざまな職業の方が在籍しています。今回は団員の中から、会員の松丸さんと主婦の松原さんの1日を紹介します。

### 会社員 松丸正典さん

消防団歴7年目になる松丸さん。会社員として働きながら、平日の夜や休日に訓練に参加しています。



AM 8:00

スケジュールの確認をしながら、都内へ出勤します。

PM 2:00

「今日は定時で退勤できそうだから、訓練に参加しようかな」



PM 7:00

詰所で仲間と車両の点検。いざという時に備えます。

### 松丸さんコメント

昔からボランティア活動に興味があり、地元の防災に関われること、主に定期的な訓練やパトロール、お祭りや花火大会の警備などを実施していると聞き、やりがいを感じ入団しました。

### 主婦 松原志保さん

主婦の松原さんは消防団歴2年目。主に子どもが学校などに通う平日の昼間に、訓練のほか啓発活動などを行っています。



AM 8:30

公園で子どもと遊ぶ時間。「未っ子はやんちゃ盛りです」

AM 11:00

市内の幼稚園で防災紙芝居。「子どもたちの反応が楽しいです」



PM 3:00

子どもとの買い物時間も充実させながら参加できます。

### 松原さんコメント

消火活動や訓練のイメージが強く、小さい子どもがいる自分には無理かなと思っていましたが、幅広い活動を知る中で自分にもできることがあるのでは、と興味がわきました。応急手当てや防火防災について学ぶ機会も多く、子を持つ親としても「もしもの時」の知識や技術を習得することもでき、地域の安心安全につながればと思い入団を決めました。

## 自分たちの街を守るのが消防団です

市内の消防団は23箇分団で構成され、会社員や自営業、大学生、主婦などさまざまな職業の方が341人(令和3年1月1日現在)在籍しています。消防団員は非常勤特別職の地方公務員に当たり、市内に在住、在勤している18歳以上の健康な方なら誰でも入団できます。

### 平常時の活動

#### 消火・防災訓練

火災現場を想定して訓練をしています。また、消防団員の技術の向上を図るため、消防用ホースを延ばし火点的を倒す早さ的確性を競う操法訓練などを行っています。



#### 救命講習

応急手当てやAEDの取り扱い方を習得します。

#### 防火啓発活動

幼稚園などでの防火啓発活動や、地域に密着した防火パトロールを実施しています。



### 災害時の活動

#### 消火活動

火災発生時には自宅や職場、学校から現場に駆け付けます。消火活動や後方支援など、その場に応じた活動を行います。



#### 搜索・救助活動

大規模災害が発生したとき、災害弱者や地域情報などを熟知した団員が、人のつながりなどを活かしながら救助活動や避難誘導を行います。

#### 水防活動

台風などの風水害では河川の水位の警戒、土のう積みのほか、排水、浸水防止などの活動を行います。



### 市公式 YouTube チャンネルで配信中

世代や職業を超えて日夜活動をしている消防団員を紹介しています。



▲昭和初期の刺し子など

### 消防団の歴史

消防団の歴史は古く、江戸時代、八代将軍吉宗が、江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、町組織としての火消組である店火消(たなびげし)を編成替えし、町火消「いろは四八組」を設置させたことが今日の消防団の前身であるといわれています。

消防団は、時代の移り変わりとともに、消防組、警防団とさまざまな変遷を経て今日に至っています。

### 地域の伝統行事

毎年1月17日に行われる、国府台地区に古くから伝わる辻切り。辻切保存会の方と一緒にワラで大蛇を作ります。



こんな活動もあります

### 他の団員もこんな気持ちです

団員に共通していることは皆市民を守りたいという強い意志を持っていることです。人の役に立ちたいという思いを持つ、そんな消防団員がかっこいいと思います

近所の方々からの「ご苦労様です」との言葉。そんな応援をいただけることもすごく励みになっている1つです

消防団員だからこそ、できることはある。消防団に入って、地域の避難場所や、災害時にどのような行動をとればよいかなど、防火・防災意識を高めることができました

これまで過ごしてきた地元の歴史や魅力を肌で感じることができました。多くの方たちと関わることができ、そこから学ぶことはとても多かったです。私が就職活動をしていたときには、自己PRや小論文の添削をしていただいたり、面接官経験のある方が面接の際のポイントを教えてくださいたりとさまざまなアドバイスをもらえました